# 【第五次中期経営ビジョン 3カ年計画】

『2020(令和 2)年度~2022(令和 4)年度』



ほくろう福祉協会

社会福祉法人

# ~ 目 次 ~ I 法人理念と基本目標 1 II 長期経営ビジョン 2 III 第五次中期経営計画の施策視点と重点課題 5 IV 第五次中期経営計画 3 カ年 ビジョン各論 6 V 第五次中期経営計画アクションプラン 8 VI 数値目標 28

### 法人理念と基本目標

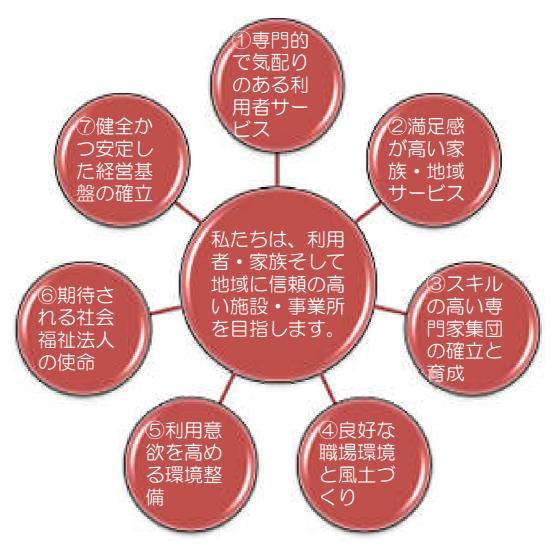
法人理念:「私たちは、人の幸せを望みます。」

~We Wish a person Well (3Wビジョン)~

【私たちは、常に利用者の方にベクトルを向けて、福祉のプロフェッショナルとして高い倫理観と責任感を堅持し、新たな発想で新たな「幸せ」創りに貢献します。】

基本目標 : 私たちは、利用者・家族そして地域に信頼の高い施設・事業 所を目指します。

【運営キーワード】



【キャッチコピー】

「人と人、心と心のコミュニケーション」

「あなたらしさ、自分らしく・・・・」

【法人公式ロゴマーク】



ほくろう福祉協会 社会権社法人

### || 長期経営ビジョン

### **1. 法人イメージ目標**

### 利用者・家族からのイメージ

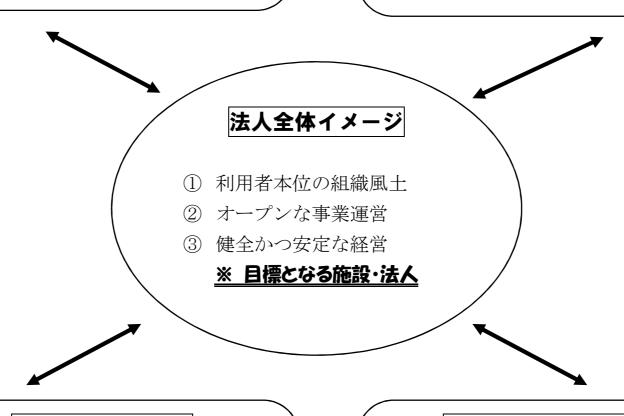
- ① 思いやりのある職員が数多い
- ② 理念・方針が明確でサービスが良い
- ③ 設備が綺麗で心地よい・良心的

※ 選びたくなる施設・事業所

### 地域からのイメージ

- ① 地域ニーズに貢献している
- ② 熱心な職員が多く応援したくなる
- ③ 相談しやすい専門職がいる

※ 信頼できる施設・事業所



### 職員からのイメージ

- ① 資質向上に熱心で専門水準が高い
- ② 風通しが良く意見が言える
- ③ 労働・給与条件等が良い

※ 働き続けたい法人

### 関係機関からのイメージ

- ① 関連法令・基準が遵守されている
- ② 協力・連携関係が築きやすい
- ③ 社福法人の役割使命を全うしている

※ 推薦できる法人

理 念 : 「私たちは、人の幸せを望みます。」

we wish a person well (3Wビジョン)

### 2. 事業構造

第二種社会福祉事業 □通所介護事業【緑愛園・青葉のまち】 □短期入所事業【緑愛園・青葉のまち】 □短期入所事業【緑愛園・青葉のまち】 要支援・要 介護度 1・2  ②益事業 ▲居宅介護支援事業【緑愛園・青葉のまち・もみじ台】  要支援・要 介護度 1~5  委託事業【札幌市】 ◆清田区第 1 地域包括支援センター ◇清田区第 2 地域包括支援センター ◇清田区第 2 地域包括支援センター ◇清田区第 2 地域包括支援センター ◇清田区第 2 が護予防支援事業所  ●   札幌シニア福祉機構【研修研究事業・地域支援事業】 ・介護職員初任者研修(北海道指定) ・認知症実践研修【実践者・リーダー】(北海道・札幌市指定) ・認知症対応型サービス事業管理者研修(道・市受託)	第二種社会福祉事業 □通所介護事業【緑愛園・青葉のまち】 □短期入所事業【緑愛園・青葉のまち】 要支援・要 □訪問介護事業【もみじ台】  ☆益事業 ▲居宅介護支援事業【緑愛園・青葉のまち・もみじ台】  要支援・要 介護度 1~5  季託事業【札幌市】  ◆清田区第 1 地域包括支援センター
□短期入所事業【緑愛園・青葉のまち】 要支援・要介護度 1・2    公益事業	□短期入所事業【緑愛園・青葉のまち】 要支援・要介護度 1・2  ☆益事業 ▲居宅介護支援事業【緑愛園・青葉のまち・もみじ台】 要支援・要介護度 1~5  季託事業【札幌市】 ●清田区第 1 地域包括支援センター
要支援・要介護度 1~5  季託事業【札幌市】 ◆清田区第 1 地域包括支援センター ◇清田区第 1 介護予防支援事業所 ◆清田区第 2 地域包括支援センター ◇清田区第 2 介護予防支援事業所  ■札幌シニア福祉機構【研修研究事業・地域支援事業】 ・介護職員初任者研修(北海道指定) ・認知症実践研修【実践者・リーダー】(北海道・札幌市指定)	要支援・要 介護度 1~5 季託事業【札幌市】 ◆清田区第 1 地域包括支援センター
	介護度 1~5 委託事業【札幌市】 ◆清田区第 1 地域包括支援センター
◆清田区第 1 地域包括支援センター ◇清田区第 1 介護予防支援事業所 ◆清田区第 2 地域包括支援センター ◇清田区第 2 介護予防支援事業所  ■札幌シニア福祉機構【研修研究事業・地域支援事業】 ・介護職員初任者研修(北海道指定) ・認知症実践研修【実践者・リーダー】(北海道・札幌市指定)	↑ ↑ ↑ ↑ ↑ ↑ ↑ ↑ ↑ ↑ ↑ ↑ ↑ ↑ ↑ ↑ ↑ ↑ ↑
■札幌シニア福祉機構【研修研究事業・地域支援事業】 ・介護職員初任者研修(北海道指定) ・認知症実践研修【実践者・リーダー】(北海道・札幌市指定)	◆清田区第 1 介護予防支援事業所 ◆清田区第 2 地域包括支援センター
•現任専門職研修(自主事業)	■札幌シニア福祉機構【研修研究事業・地域支援事業】 ・介護職員初任者研修(北海道指定) ・認知症実践研修【実践者・リーダー】(北海道・札幌市指定) ・認知症対応型サービス事業管理者研修(道・市受託)

# 事業提携·協定

- ①藤女子大学人間福祉学部との「介護職員初任者研修」事業提携
- ②フィンランド・シポー市サービスハウス財団との国際交流協定
- ③NDソフトウェア株式会社との ICT 利活用に関する協力協定
- ④北海道医療大学看護福祉学部臨床福祉学科とのパートナーシップ協定
- ⑤札幌学院大学との「介護職員初任者研修」事業提携

### 3. 事業目標

### ① 社会福祉事業(第一種・第二種)

i)特別養護老人ホーム

制度改正による待機者減少も予測されます。要介護者及び家族に魅力を感じてもらうよう、施設ケア改革を行います。

- ii) 短期入所生活介護事業
  - 一度の利用が一生の利用者=得意客⇒支持者・代弁者となり、潜在利用者を作り出せるように実践します。(特養申込者として確保します)
- iii) 通所介護事業

「この地域で一番」・「このサービスなら一番」を演出します。演出効果・競合等により、利用者定員を見直します。

iv) 訪問介護事業

モビリティー(移動する力)を活用し付加価値サービスの創設を検討します。

### ② 公益事業

i ) 居宅介護支援事業

現事業所及び新規事業を含め、規模拡大路線を目指します。利用者がケアマネジャーを選択できる運用方法について検討します。

- ii) 地域包括支援センター・介護予防支援事業所制度同行及び札幌市方針に沿いながら、清田区モデルを構築できるよう関係機関への働きかけを一層強化します。
- iii) 札幌シニア福祉機構

行政指定研修及び委託研修を検討します。社会問題化している課題に対処できる新 規事業を創設します。

### ③ その他

- i) 教育機関・海外施設・他社会福祉法人(障害分野等)・行政等の関係機関や企業と 事業提携・連携し、法人経営・事業運営にプラス効果を得られるようにします。
- ii) 緑愛園移転建替えを第五次中計(2020~2022年)で準備し、第六次中計で計画実行します。その後の4拠点構想により、当該地区で地域資源再開発事業が可能となるよう、現在の施設所在地域の高齢者ニーズを調査し、事業化を検討します。

### Ⅲ 第五次中期経営計画の施策視点と重点課題

### 1 計画の期間

第五次中期経営計画は、2020年度から2022年度の3年間とします。7つのビジョンのもと、アクションプランにより具体的行動計画を作成しました。また、経営と運営の目標値を定め、向かうべき方向性を示しております。

### 2 見直しの時期

年 1 回の内部検証を通して、修正箇所を点検します。第六次中期経営計画は、第五次最終年である 2022 年度中に、新たに策定します。

			年	度			
令和元年	令和2年	令和3年	令和4年	令和5年	令和6年	令和7年	令和8年
(2019) 年	(2020) 年	(2021) 年	(2022) 年	(2023) 年	(2024) 年	(2025) 年	(2026) 年
第四次 中計間 計画見 直	第五次中	期計画・実行	計画見 直し	第六次中	期計画・実	行期間 計画見 直し	第七次中期計画

### 3 第五次中期経営計画の視点と重点課題

# ★計画を実行する上での視点★ 視点 1 白紙姿勢(ゼロ・リセット) 連点 1 視点 2 ICT等の有効活用 連点 2 視点 3 段階的成果出し

# ★本計画の重点課題★重点 1 人材定着策と確保策の革新重点 2 緑愛園建替え準備計画重点 3 職務改革と労務管理強化

### Ⅳ 第五次中期経営計画3ヵ年ビジョン各論

### ビジョン① 専門的及び気配りのある利用者サービス

- 1. ケア提供の「倫理」を再構築し、サービスマネジメントを強化します。
- 2. SW実践・CM実践における定期的な評価と改良を行います。
- 3. 施設内看取りケアのさらなる充実を図ります。
- 4. サービス提供記録の合理化・簡素化のために新たな通信機器の導入を実行します。
- 5. 利用者確保を戦略的に計画します。

### ビジョン② 満足感が高い家族・地域サービス

- 1. 利用者支援のための家族協力内容を再構築します。
- 2. 「生活支援」に焦点化した地域公益的取組みを検討します。
- 3. 選ばれる介護教育施設として、介護実習生の確保を強化します。
- 4. SW・CMと関係機関担当者との信頼関係づくりを充実します。
- 5. 第六次中計に向けて、地域資源再開発のための情報収集に努めます。

### ビジョン③ スキルの高い専門家集団の確立と育成

- 1. 各施設・事業所内での職場定着策(離職防止)を強化します。
- 2. チーム連係を高めるべく、人間関係構築策を実行します。
- 3. 介護育成主任の機能を見直し、スキルアップを図ります。
- 4. 職員(専門職)クレド〈信条〉を協議し、職員間の浸透に努めます。
- 5. 介護・看護・相談支援等職務の実態調査を行い、改善・管理の手法等を確立します。

### ビジョン④ 良好な職場環境と風土づくり

- 1. 職務改善・職務改革を継続し、就労時間の適正化に努めます。
- 2. 全職員がリフレッシュ休暇を取得できるよう、年初計画を提出し点検します。
- 3. 定年延長及び定年前基本給・退職金支給の見直しを行います。
- 4. 介護職員等特定処遇改善加算の効果的な支給方法を確立し、就労意欲を高めます。
- 5. 「働き方改革関連法」も施行されており、適正な超過勤務の管理に努めます。

### ビジョン⑤ 利用意欲を高める環境整備

- 1. 職員間コミュニケーションを活発化し、チーム力を高めます。
- 2. 個室・共同空間・利用スペース・事務室等の美化及び整理整頓に努めます。
- 3. ICT・ロボットの活用を積極的に検討し、順次導入します。
- 4. 「緑愛園」の移転建替え計画を策定し、具体的な準備を開始します。
- 5. 防災準備品や緊急時体制を定期的に点検し、災害に備えます。

### ビジョン⑥ 期待される社会福祉法人の使命

- 1. 緑愛園建替え準備に伴い、建設候補地の地域福祉ニーズを把握します。
- 2. 各施設の現行「地域公益的取組」を再評価し、活動内容を見直します。
- 3. 札幌シニア福祉機構の研修事業を精査し、事業の再構築を行います。
- 4. 同業種・異業種との事業協力・提携を検討します。
- 5. 法人ホームページの改良、広報媒体の改善等により情報発信の充実を図ります。

### ビジョン⑦ 健全かつ安定した経営基盤の確立

- 1. 緑愛園建替え計画(第六次中計実行)における自己資金確保の基盤を持続します。
- 2. 介護等人材の確保を戦略的に計画し、重層的な取組を実行します。
- 3. 事務処理手順及び会計管理の取扱い、権限範囲の適正化等を強化し、内部管理システムを確立します。
- 4. 不正なサービス提供や取引、関係機関からの苦情・信用失墜等、運営リスクの管理を強化します。
- 5. 労働関係法令遵守のため、管理職等の労務管理知識の向上と点検・指導行為を充実しま

  す

## 第五次中期経営計画 アクションプラン

### 1 法人経営基盤

項目	I -1	収益管理•資金管理						
実行責任者経営企画		チームメンバー:事業運営部 総務管理部長・施設長	行動時期 △検討・○実行・◎検証					
細目		行動計画	2020 上	2020 下	2021 上	2021 下	2022 上	2022 下
① <b>②</b> 稼	して目	毎に「資金収支差額目標」を金額で示標の共有化を図る。 毎の稼働率・利用者数等の計画値を年	0	0	0	0	0	0
移働率等事業計画	す。	示し、事業収入の安定的確保を目指	0	0	0	0	0	0
設計定画		決算を活用して迅速に差異要因等を把宜対策を講じて、目標達成を図る。	0	©	0	0	0	©
2	i )建替	え場所の選定				0	0	0
緑 愛 園 建	ⅱ)事業	内容などの確定		0	0	0	0	0
	iii)既存	事業の精査・検討		0	0	0	0	0
準 備	iv)資金	計画の立案				0	0	©
		款に基づく評議員会・理事会・評議員 任委員会を適切に運営していく。	0	0	0	0	0	0
③ そ の 他	実に実	設備投資については、計画を立て、着 行していく。	0	0	0	0	0	©
. —	iii )第五 遂行を目	次中計の年度毎の総括を行い、確実な 指す。		0	0	0	0	Ο

項目	I-2	设備投資•業務管理						
実行責任	者:  運営部長	チームメンバー: 事務局長・施設長		△給		]時期 実行・©	がおきに	
細目	<del></del>	行動計画	2020	2020	2021	2021	2022	2022
①備品•設備	i )防災・ <sup>§</sup> 準備	緊急時体制の点検と備品の計画的	<u>Е</u>	下	<u>Е</u>	Т О	<u></u>	\(\pi\)
· 設 備	ii )VR 機林	才の設備導入の検討	Δ	0	©	Δ	0	0
② 適切	i)介護職態	員の業務実態調査の検討と実施	Δ	0	0	Δ	0	0
運営のな業務整理と	ii )内部監証	査における業務管理の推進	0	0	0	0	0	00
整理と	ⅲ)業務管⋮	理体制マニュアルの作成	Δ	0	0	0	0	0
③機械化の	i )介護負担の検討と	担軽減に繋がる福祉機器・用具等 導入	Δ	Δ	Δ	0	0	0
③機械化の促進検討	ii )ICT 機語 検証	器(PC モバイル等)の導入と	0	0	0	0	0	0

項目	I-3 /	人事管理•労務管理						
実行責任	任者:	チームメンバー:事業運営部 行動時期 長 事務局長・施設長 △検討・○実行・◎検証						
総別	<sup>务管理部長</sup>	事務局長・施設長		△検	討•○3	実行・◎	検証	
細目		行動計画	2020	2020	2021	2021	2022	2022
		13 ## E	上	下	上	下	上	下
	i)介護人材確	保対策委員会の設置及び運営		0	0	0	0	©
	(新卒者確保)							
		養成校との連携強化	Δ	0	0	0	0	0
		芸資格者)・大卒者(一般大学)からの		Δ	Δ	0	0	0
		アアップ支援						
	│ iv)奨学金制度 │ │ ∨)介護実習生	· · · <del>-</del> · ·		Δ	0		Δ	0
人材・人員確保								
人員		***** *当・入職準備金制度の継続と見直し		0	0	0	0	0
一 保 【	   vii )法人主催介	護職員初任者研修における採用助成金	Δ	Δ	0	0	0	©
	の推進		0	0	0	0		
	   viii)多様化する	<ul><li>動き方の対策(短時間、勤務日数・複</li></ul>						
	合ケア・学生	ミバイト等)		0	0			
	ix)介護事業休	止・廃止事業所の情報収集及び退職者						6
	への採用アフ	プローチ 	0	0	0	0	0	0
		よる定年前基本給と退職金制度の見直	Δ	0	0			
2	し   ii ) 最低賃金3	上げに伴う、非常勤職員賃金の改定	Δ	0	Δ	0	Δ	0
賃全								
賃金制度等	   iii )介護職員処	遇改善加算及び介護職員等特定処遇改	0	0	0	0	0	0
等	善善加算の継続	5 算定と対応						
		(介護職員等特定処遇改善加算)の見	Δ	Δ	Δ	Δ	Δ	0
	直し							
3		でにおける情報分析と提案 でにおけるチェック機能強化	0	0	0	Δ	0	0
職員		0	0	0	$\triangle$	0	0	
職員の定着化		)機能評価と業務内容の見直し サポーターの運用拡大			$\triangle$	0	0	0
着   化 	<sub>  IV</sub> / ロ市土泊り   	バル・ター ○月年内が八			$\triangle$	0	0	0
							<u> </u>	

項目	Ⅰ-4 事	写業連携・事業戦略						
実行責任者	•	チームメンバー:			行動	時期		
事業運営	営部長	事務局長・総務管理部長		△検	討•○9	実行・◎	検証	
細目		行動計画	2020	2020	2021	2021	2022	2022
WW		13 数	上	下	上	下	上	下
	i) エヌ	<ul><li>デーソフトウェアとの連携による</li></ul>						
	ICT システ	テムの普及促進	0	0	0	0	0	0
事業提携	   ii )北海は   推進と強(	道医療大学パートナーシップ協定の と	D 0	0	0	0	0	0
	iii )福祉教 開催の検討	教育機関等との事業提携による研 対	多		Δ	Δ	Δ	△⊚
② 大 札	i )現任 いまた。 拡大と を	専門職研修のカリキュラム精査と 食討	0	0	0	0	0	0
大検討・ア福		旨定研修及び委託研修の検討			Δ	Δ	0	
福祉機構事業の	iii)研修E	申込み体制の WEB 化	Δ	0	0			
事 業 の 拡		社会福祉法人との連携による研修 養職員初任者研修等)	多		Δ	Δ	0	00
3	i )関係t	幾関向け法人事業サービスのパン] 或	<b>Э</b>	Δ	0	©		
利用者の拡大	者確保の	運・異業種との業務提携による利用 の検討 ス付住宅・老人保健施設等)	<b>目</b>			Δ	0	Ο
大	iii)「青葉	である。・「サポーティ・もみじ台 ごス事業連携強化の検討	Γ.		Δ	Δ	Δ	∆⊚

# 2 サービス

# 【 緑愛園 】

領域	Ⅱ-1 個別	支援サービス(入居者・家族)	)					
項目	個別支援(	D向上						
実行責任 生活	任者: 5支援課長	チームメンバー: 施設長・相談支援課長・主任・リ ーダー		△検ネ		時期 €行・©	検証	
細目		行動計画	2020 上	2020 下	2021 上	2021 下	2022 上	2022 下
1	i )現 ICT 和 性の検証と	川活用による安全性及びケアの効率 蛍化		Δ	0	0	0	
質の高いケア	ii)実践的口:	ボット活用の検討			Δ	0	0	0
ア	   iii)倫理を重 <sup>を</sup>	視した介護実践と点検の強化			Δ	Δ	0	0
2	i)サービス	コンセプトの検証及び再構築	ΔΟ	00	Δ	0	0	0
サービスの	ⅱ)生活と余日	暇の相関関係を重視した実践		Δ	0	0	0	0
の 充 実	)家族ボラ	ンティアや職員の OB/OG の検討と提案	Δ	0	0	©Δ	0	0
(3) 情報発	i )利用者家が信システムの	まが自由に情報を取得できる情報発 の検討	Δ	Δ	0	00		
情報発信とリスク管理		乗等が施設の運営状況を確認できる ールの検討と作製	Δ	0	Δ	0	0	
管理	iii)スタッフに	こよる利用者生活情報の発信力強化	Δ	0	0	0	0	

領域	Ⅱ-2 社:	会資源の発掘及び支援強化						
項目	地域力の	活用						
実行責任相談	壬者: 炎支援課長	チームメンバー: 施設長・生活支援課長・主任・生 活相談員		△検ネ		時期 €行•©	)検証	
細目		行動計画	2020 上	2020 下	2021 上	2021 下	2022 上	2022 下
① 世 世	i )個別 は 域アセ	プログライスから地域課題を把握できる地でスメントカの強化	Δ	Δ	0	0	0	0
①地域課題の分析	ii)新た	たな社会資源の検討と提案			Δ	0	0	©
援労	) 	開発のためのネットワーク構築 () () () () () () () () () () () () ()			Δ	0	0	0
② 地		にいる学生たちの発想力を地域力に める手法の検討と実施	Δ	0	0	0		
地域力の活用		対育の体制強化 発指導/職業体験の受け入れなど)	Δ	0	Δ	0	0	
用	iii )就労 の場を	意欲のある高齢者や若い世代の活躍 提供		Δ	0	0	0	
3		種(福祉以外)の知識を活かした地 f・分析・PR 方法の獲得と活用の検	Δ	0	0			
他機関連携	討 ii )他聘	<b>種(一般業種)におけるビジネスス</b>			Δ	0	0	
携		)獲得と実践 さぎ目のない支援展開のための内部連	Δ	0	0	©		

領域	Ⅱ-3 サ-	-ビス環境						
項目	サービス <del>I</del>	票境						
実行責任	任者: 5支援課長	チームメンバー: 施設長・相談支援課長・主任・介 護支援専門員・生活相談員		△検ネ		時期 実行・©	検証	
細目		行動計画	2020 上	2020 下	2021 上	2021 下	2022 上	2022 下
① ス		者/介護者にとって安楽な介護スキ 新情報を獲得	Δ	0	0	0		
スキル向上	ii ) コン <sup>*</sup> 認と修	プライアンスを重視した実践の再確 正	Δ	0	0	0		
	iii)自発i	的学習機会の設定と学びの場の確保			Δ	0	0	0
2		業務における専門性と非専門性を分 業務課題の分析	Δ	0	0	0		
介護業務の改善	ii )介護: 提案と	業務の内容を検証し、実践に適した 改善			Δ	0	0	0
改善善	iii )介護i を検討	記録等の効率的な業務遂行のあり方		Δ	0	0	0	
3	,	介護ロボットなどの物理的環境に関 報の取得と今後の検討	Δ	0	0	0	0	0
建替え後	ii )ICT/ ディア	介護ロボット/各種機器の活用アイを提案	Δ	0	0	0	0	0
環境検討	١ ١	等の利活用と人員配置の検討			Δ	Δ	0	0

領域	Ⅱ∠	4 施							
項目	施記	設運営	の健全化						
実行責任施	任者: 設長		チームメンバー: 生活支援課長・相談支援課長・ 主任・リーダー		△検ネ	行動 討•〇9		)検証	
細目			行動計画	2020 上	2020 下	2021 上	2021 下	2022 上	2022 下
	i	)離職	理由の詳細把握と要因分析	Δ	0	0	0	0	0
①介護職員の定着強化	ii		ッフの自己肯定感が高められるニケーション機会の検討と推進	Δ	0	0	0	0	0
貝の定着強			対職員の就労環境における意 望の聞き取り	Δ	0	0	0	0	0
化			及び施設風土の再確認と職員定	Δ	0	0	0	0	©
2			住民及び居宅事業所へ効果的情 手法の検討と実践	Δ	0	0	0	0	00
②利用者の拡大			園の事業スケールメリットを活 サポート体制の構築	Δ	0	0	0	0	00
拡大		i)一般 構築	企業と共同した相談受理体制の	Δ	0	0	0	0	00

## 【 青葉のまち 】

領域	Ⅱ-1 個	別支援サービス						
項目	個別支援の	向上						
実行責任	任者: 5支援課長	チームメンバー:施設長・ 相談支援課長・主任・ユニッ トリーダー		△検		時期 実行・©	検証	
細目		行動計画	2020	2020	2021	2021	2022	2022
		13 ±001 @	上	下	上	下	上	下
① 認 知	i )認知症: 員への理	実践者研修修了者による全体職 関解促進	0	0	0	0	0	0
認知症ケアの充実	ii )認知症 の強化	対応型通所介護の個別サービス	0	0	0	0		
充実	iii)継続的	]キャプション評価と環境改善	0	0	0	0	0	
② 専 門		ト実習施設辞退に伴う独自ユニ アの促進			0	0	0	0
専門的ケアの		積とデスカンファレンスの強化 よるサービス記録の効率化		Δ	0	0	0	0
充実			Δ	0	0	0		
3	i )介護チ 化	ームにおける情報共有の連携強	Δ	Δ	0	0	0	0
専門職意識向上	ii )OJT ŧ	幾能の推進体制の強化	Δ	ΔΟ	0	0	0	
識向上	iii )施設全位 化	体による実習指導体制の改善強			Δ	0	0	0

領域	II - I	2 地	対域との連携						
項目	地域)	連携と	地域貢献						
実行責任			チームメンバー:施設 長・生活相談員・介護支 援専門員		△検ネ		時期 実行・©	検証	
細目			行動計画	2020 上	2020 下	2021 上	2021 下	2022 上	2022 下
① 地	i	)地域	公益的取組の評価と再構築	Δ	Δ	0	0	0	
地域活動の支援		)近隣 握調査	町内会に対する地域ニーズの把	Δ	0	0			
援		)近隣 支援の	町内会に対する新しい地域生活 提案				Δ	0	0
② 地 域	i	)地域	の子ども向け企画の継続的実施	0	0	0			
地域の福祉教育支援		施	住民向けの認知症啓発活動の実	Δ	Δ	0	00		
育支援		)利用 <sup>:</sup> 大	者と地域住民との交流機会の拡			Δ	0	0	0
<u></u> නූ මූ		_ <u></u> )ボラ	ンティア確保に向けた取り組み	Δ	0	0	0		
の検討の検討を支援主体	ii	)家族	による入居者生活支援の拡大		Δ	Δ	0	00	
援 主 体	iii	)介護	保険外サービスの外注促進		Δ	Δ	0	0	

領域	Ⅱ -	-3 サービス環境							
項目	支持	援環境強化	رَ						
実行責任生活支持			チームメンバー: 施設長・相談支援課長・主任		△検討		時期 実行•◎	)検証	
細目			行動計画	2020 上	2020 下	2021 上	2021 下	2022 上	2022 下
ト 強 化			i ) 福祉用具、介護機器の活用による介護負担 の軽減促進			Δ	0	0	
化 ジスクマネジメン	7 7	ii )介護聯	ii )介護職員による緊急時対応の能力向上		0	0	0		
ジメン	が ( iii)介護ルーティン業務の見直し ・		Δ	Δ	0	0	0	0	
② 待 機		i )関係機	機関への継続的・計画的訪問	0	00	0	00	0	00
待機者対策と支援		ii )施設見 一化	学・相談受理対応における水準の統			Δ	00		
支援		iii ) 待機者の情報収集頻度の見直しと、実態調 査における優先順位の精査		Δ	0	0	0		
		i)ユニッ容の検討	ト内清掃業務の機械化と委託契約内		Δ	0	00		
空間整備	居 住 空 間 整 備 ii )自立支援型デイの評価と環境見直し		を援型デイの評価と環境見直し			Δ	0	00	

領域	Ⅱ-4 施設	-4 施設運営の健全化							
項目	施設運営の	D健全化							
実行責任施設		チームメンバー: 生活支援課長・相談支援課長・主 任・リーダー		△検		時期 実行・◎	検証		
細目		行動計画	2020 上	2020 下	2021 上	2021 下	2022 上	2022 下	
	i )退職I	里由の分析と統計化	Δ	00	0	00	0	00	
	ii )職員f	木息空間の場所及び環境の見直し		Δ	0	0	0		
① 介 <b>謹</b>	容検討	E活サポーターの増員による業務内	ΔΟ	0	0	0			
①介護職員の定着強化	iv)ユニッ     立感の軽減	ルト運営方法の見直しによる職員孤 喊		Δ	Δ	0	0	0	
上着 強 化		職員にとって魅力ある職場を再確認 が他者に誇れる施設作りの実施	Δ	ΔΟ	0	00	0	0	
	vi)介護耶	職員の業務負担の分散化を目的とし	ΔΟ	0	0	0	ΔΟ	00	
		勧務の労務管理向上 業務の効率化と削減	00	00	00	00	00	00	
2	i )電子如 画的実施	i )電子媒体を活用した事業所PR訪問の計 画的実施		00	ΔΟ	00	ΔΟ	00	
②利用者の拡大	ii )地域: 画	マットワーキング活動への積極的参	0	00					
拡 大 iii)「1 の集約・		/テークワーカー」による渉外活動	Δ	Δ	0	0	0	0	
	iv)在宅t 支援の強(	ナービスにおける利用開始後の相談	Δ	Ο	0	Ο	0		

### 【 サポーティ・もみじ台 】

領域	II -	-1 サ-	・1 サービスの向上						
項目	サー	-ビスの向	5上						
実行責任		課長	チームメンバー:施設長・主 任・生活相談員・リーダー		△検	行動 討•○9		検証	
細目			行動計画		2020 下	2021 上	2021 下	2022 上	2022 下
① 施設t		i )虐待及び不適切ケア防止に向けた継続的 な活動の推進 ii ) 苦情解決システムの職員周知と強化		0	0	0	0	0	0
施設内リスクの軽減					Δ	0	0		
軽 減	iii)接遇向上		句上に向けた継続的活動の実施	0	0	0	0	0	0
2     C   T		i)記録	業務及び通信等の効率化の促進	ΔΟ	ΔΟ	ΔΟ	ΔΟ	ΔΟ	ΔΟ
機器等の活用		ii )入居者 評価	6生活の行動アセスメントの実施と	Δ	0	0	0		
用		iii)介護· 評価	スタンディングリフト等の活用と	0	0	0	0		
3		i )認知症ケアの理念と基礎知識の理解及び 促進		0	0	0	0	0	0
専門的ケ	専 門 ii )基本的な介護技術の評価の 対 フ		可な介護技術の評価とOJTの実施	0	0	0	0	0	0
専門的ケアの実践			バンス・ケア・プランニング (人生 及び看取りケアの協議と周知	0	©	0	©	0	©

領域	Π.	[-2 地域支援・地域活動							
項目	地	域支援•均	也域活動						
実行責任施設長	者:		チームメンバー:生活支援課長・生 活相談員・介護支援専門員		△検		時期 実行・◎	検証	
細目			行動計画	2020 上	2020 下	2021 上	2021 下	2022 上	2022 下
① 防	i)災害E		寺マニュアルの整備と周知	Δ	0	0	0		
防災対策の確立		ii)火災及	及び地震等避難訓練の強化	Δ	0	0	0	0	0
<u>77</u>	雄 立		D学校・施設との防災時連携の構築				Δ	0	Ο
② ボ ラ		i)新規力 活動	(ランティア獲得に向けた継続的な	0	0	0	0	0	0
ボランティア活		ii )生活5	支援ボランティアの検討		Δ	ΔΟ	0	0	
活動の充実		iii)外出行 検討	<b>庁事におけるボランティア協力の</b>				Δ	Δ	ΔΟ
③ 地 域 支	③ i)生活支 地 域 り組みの 支		を接に焦点化した地域の公益的な取 の実施	Δ	0	Δ	0	Δ	Ο
		ii )老人ク の連携引	フラブ・まちセン等地域関係機関と 蛍化	0	0	0	0	0	0
の 献活 動化			- No.			Δ	0	0	0

領域	I	-3 業務	3改革						
項目	働	き方改革の	)具現化						
実行責任	E者	:	チームメンバー:生活支援課長・	行動時期					
施設長			主任・リーダー・管理栄養士		△検	討•○9	実行・◎	検証	
細目					2020	2021	2021	2022	2022
				上	下	上	下	上	下
1		i )完全調	i )完全調理済み食品提供の体系化と検証		ΔΟ	ΔΟ	ΔΟ	ΔΟ	ΔΟ
体制の確立		   ii)安定し 	ii )安定した発注システムの構築		ΔΟ	ΔΟ	ΔΟ	ΔΟ	ΔΟ
型 提	) 	iii)嚥下調整食の検証と提供方法の体系化		ΔΟ	ΔΟ	ΔΟ	ΔΟ	ΔΟ	ΔΟ
② 新		i )日常生	活サポーター業務の見直し	ΔΟ	ΔΟ	ΔΟ	ΔΟ	ΔΟ	ΔΟ
新介護人員配置			3体制の導入による業務体制の見直し 支援に係る新たな雇用形態の検討	ΔΟ	ΔΟ	ΔΟ	ΔΟ	ΔΟ	ΔΟ
値の確立						ΔΟ	©		
③ 楽 ()		i)検食廃止による食事評価の検討		ΔΟ	ΔΟ				
楽しみの実現	)	ii)ケータ「 供	リング・実演等の特色ある行事食の提	ΔΟ	ΔΟ	ΔΟ	ΔΟ	ΔΟ	ΔΟ

領域	Ⅱ-4 施設運営の健全化							
項目	施設運営の	の健全化						
実行責任施設		チームメンバー: 生活支援課長・主任・生活相談員		△検		時期 実行・©	)検証	
細目	行動計画		2020 上	2020 下	2021 上	2021 下	2022 上	2022 下
	i )就労及ī	び休憩環境の整備と改善	ΔΟ	ΔΟ	ΔΟ	ΔΟ	ΔΟ	ΔΟ
1 介護		ii )プリセプター方式等による職員育成方法の 検討と実施		ΔΟ	ΔΟ	ΔΟ	ΔΟ	ΔΟ
①介護職員の定着強化	iii)計画的な有給休暇及びリフレッシュ休暇取得に向けた体制の構築		0	0	0			
着 強 化	iv)心理力「 討	ウンセラー(外部機関)の活用の検			0	0	0	0
		ニアリングの検討と実施	Δ	Δ	0	0	0	0
② <del>1</del> 11	i )事業所I 等)の検証	PR方法(チラシ・広報誌・見学会 討と実施	ΔΟ	ΔΟ	ΔΟ	ΔΟ	ΔΟ	ΔΟ
利用者の拡大	ii )インスタグラム等のSNSの積極的な活用 と評価				Δ	0	0	0
大	知 iii )外部機関(病院・老健・地域包括)への定期的なアプローチ		Δ	0	0	0	0	0
③ そ の 他	i )全職員7 (5S活動の	が協力して働ける環境づくり )推進)	Δ	0	0	0		

# 【 清田区第1・第2地域包括支援センター 】

領力	或	Ⅱ-1 個別支援サービス						
項[		介護予防支援の質の向上						
	- 賃任者: センタ	チームメンバー: センター長 ・副主任		△検討		時期 実行・◎	検証	
細目		行動計画	2020 上	2020 下	2021 上	2021 下	2022 上	2022 下
① 適切		i )自立支援に資する介護予防ケアマネジメントス キルの向上		0	0	0	0	0
適切なケアマネジメント	ii )ケ の推進	<ul><li>ii )ケアマネジメントにおけるタイムマネジメントの推進</li></ul>		Δ	0	00	0	00
シメント	iii )職	iii )職員の業務量における平準化の推進		0	0	00		
2	i)コ <sup>i</sup> 制等)	ンプライアンスの再確認と強化(書類管理体		Δ	0	©	Δ	0
法令順守		ービス提供記録(ケアプラン・モニタリング 記載方法の強化	Δ	0	0	0		
	iii)介i 用	護保険制度・総合事業改正ポイントの適正運		Δ	0	0	0	0
3		i )職員定着の為に OJT 機能体制の強化		Δ	Δ	0	0	0
③職員育成	ii)効i し	率的な業務推進の為に業務内容の点検と見直	Δ	Δ	0	0	0	0
	iii )就: 理等の:	労時間適正化の為に、時差出勤制度・有給管 推進	0	Ο	0	00		

領域	Ⅱ-2 地域包括支援								
項目	地域との連携	包括支援ネットワークの構築							
実行責任	者:	チームメンバー:センター長			行動	時期			
包括も	アンター長	• 主任		△検	討•○9	€行・◎	検証		
細目		行動計画	2020	2020	2021	2021	2022	2022	
, ww C		13 #301 @	上	下	上	下	上	下	
1	i)総合相談為	窓口としての相談受理(インテーク・							
総合	スクリーニン	グ等)の強化	0	0	0	0	0	0	
総合相談支援									
支援		給者・家族が暮らしやすい環境の整備 、、		_			_	_	
	(啓発活動・)	家族会等)		0	0	0	ΔΟ	0	
	··· \ \\ \\ \\ \\ \\ \\ \\ \\ \\ \\ \\ \	<u>、                                    </u>							
		(弁護士等職能機関、サービス事業所、 第2との連携による特別連携末短な制	_	0	C	0	C	©	
	・ 地域関係機関・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	等)との連携による権利擁護支援体制	Δ		0		O	0	
2									
	i )各種関係機	機関との連携促進の課題分析と取組み	0	00	0	00	O	00	
包 括 的	1 / 1 1 1 2 1 7 1 7 1 7 1 7 1 7 1 7 1 7 1 7	NIPS C STATISTICAL STATISTICS IN CONTRACTOR							
•	ii )介護支援특	専門員・主任介護支援専門員との研修							
継続的ケアマネジメント	会•情報共有等	穿を通じたネットワークづくりの推進	Δ	0	0	0	0	0	
クアフ									
マネジ	iii )関係機関と	この地域ケア会議の効果的な運営の促							
×	進		0	00	0	00	0	00	
<u> </u>									
	i )地域包括ケ	アシステム構築のための地域アセス							
3 th	メントの推進		0	0	0	00	0	00	
域 づ									
③地域づくり		マンター・生活支援コーディネーター							
		会資源(集いの場・生活支援) 開発の	Δ	0	0	00	0	00	
	推進								

### 3. 職員労働環境

項目	Ⅲ-1 職	場環境・福利厚生・労使連携						
実行責任者	:	チームメンバー:事業運営部			行動	時期		
総務管	理部長	経営企画部長・施設長		△検	討•○9	実行・◎	)検証	
細目		行動計画	2020	2020	2021	2021	2022	2022
<b>₩</b>		1分割計画		下	上	下	上	下
① 健		康診断の結果における再検診者の点		0		0		0
健 康 管 理	検強化     ii )採用時   直し	検診・定期健康診断の医療機関の見	Δ	0				
② 福 利 厚	i )制度理	i )制度理解に向けた職員へのアプローチ			Δ	0	0	
福利厚生・他	ii )職員休	憩場所等の環境見直し	Δ	0	0			
	iii )表彰制	度の見直し	Δ	0	0			
③ 環 良 接 好	i )年次有	給休暇 5 日取得の継続的点検と実施	0	0	0	0	0	0
環境づくり良好な職場	l ii )同一労	働・同一賃金への点検と対応	Δ	0	©			
—————————————————————————————————————		i ) 職員組合と法人間における経営情報の共有 化と推進		0	0	0	0	0
労 使 連 携		着化に向けた対策と連携の強化	0	0	0	0	0	0

項目	<b>I</b> I-2	職員育成•自己啓発						
実行責任 事業)	E者: 軍営部	チームメンバー: 施設長・課長		△検		時期 ≷行・©	)検証	
細目		行動計画	2020	2020	2021	2021	2022	2022
	15 3381 🗀		上	下	上	下	上	下
① 職		i ) 職員研修の見直し(海外交流研修・介護 未経験職員研修等)		Δ	0	0	0	
職員育成	ii )VR を活用した職員研修の検討		Δ	Δ	Δ	ΔΟ	0	
	iii)本 <sup>i</sup> 検i	部付介護人材担当課長(仮称)の配置 対	Δ	Δ	Δ	Δ	Δ	△◎
	i)SE	i )SDS 制度の見直しと運用推進		0	0	Δ	0	0
② その他	ii )認知症実践者リーダー研修の受講推進		0	0	0	0	0	0
	iii)業i	務管理体制マニュアル点検項目の見直			Δ	0	0	0

# VI 経営目標

### 1. 財務目標値

	令和 2 年度	令和3年度	令和 4 年度
介護保険収入	1,665,000,000	1,665,000,000	1,665,000,000
公益事業収入(札幌シニア福祉機構)	17,900,000	17,900,000	17,900,000
その他の経常活動収入	15,720,000	15,720,000	15,720,000
事業活動収入計	1,698,620,000	1,698,620,000	1,698,620,000
資金収支差額合計	60,580,000	68,000,000	69,260,000

### 2. 事業目標値

	<u>_</u>			
事業名	施設別	令和 2 年度	令和3年度	令和 4 年度
	緑愛	96.4%	96.4%	96.4%
入所稼働率(施設+短期)	青 葉	95.5%	95.5%	95.5%
	もみじ	97.4%	97.4%	97.4%
通所介護 1 日利用者数	緑愛	27.9 名	27.9 名	27.9 名
(通常+認知)	青 葉	27.0 名	27.5 名	27.5 名
通所介護 月利用者数	緑愛	36 名	36 名	36 名
(介護予防)	青 葉	26 名	26 名	26 名
<b>計明人業日津ポル粉</b>	緑愛	_	_	_
訪問介護月請求件数	もみじ	1,130 時間	1,180 時間	1,230 時間
<b>尼·</b>	緑愛	260 件	265 <b>件</b>	270 件
居宅介護支援月請求数	青 葉	220 件	220 件	220 件
(介護+予防)	もみじ	156 件	162 件	167 <b>件</b>
清田区地域包括支援センター	第 1	590 件	600 件	610 <b>件</b>
介護予防支援月請求数	第 2	800 件	815 件	830 件

### 3. その他目標値

	4次中計平均值	令和 2 年度	令和3年度	令和 4 年度
離職率	20%	14%	12%	10%
(うち介護職のみ)	23%	15%	13%	11%

※離職率=1年間の全職員(正規・非正規)退職者数÷年度当初の人員計画数